

明るく元気の出る町

平成6年10月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町
1994 10
NO.475



獅子舞を奉納(第3部・八沢木獅子)

9月10日・舟打場地区・大山祇神社

9月
定例議会

行政報告

平年を上回る豊作に期待

ほのぼの祝い金を 31人に贈呈

ゴミ集積所のダストバスケットは今年、三三基を設置、個人用のゴミ処理器コンポストは六一基を設置、一基につき三、〇〇〇円を助成しています。

八月末現在の検診結果は、基本検診の受診者が一、八七四人、人間ドック

の受診者が二五六人、結核検診の受診者が二、二三五人、大腸ガン検診の受診者が六三五人、胃検診の受診者が七二二人となっています。

国庫補助事業で防火水槽三基を設置します。場所は、松柴、新町、新処です。東北電力より寄贈された防犯灯十二基、町設置分十二基の計二十四基、移設工事分四基の工事はすべて完了しました。今年四月から実施しているほのぼの祝金条例では、結婚祝い金が十一件、出生祝い金が二十件となっており、それぞれ五万円ずつを贈呈しています。

『松くい虫』を確認

天候に恵まれ順調に推移している農作業は、八月十五日現在の県内の作況指数が一〇三の「やや良」と発表されました。町内では、倒伏も見られますが、平年作を上回ると予想され、収穫時期も一週間から十日、早まっています。事前売渡限度数量は、うるち米が四二五万七、五二三粒（十五万九一七袋）、もち米が三万二、四六〇粒（千八二袋）となっており、全体で昨年度実績より一五〇万四、六二三粒（五万



▲9月22日は米の初検査

一五四袋）増となっています。

九月の由利家畜市場では、本町分の上場頭数が五一頭、成立頭数が四七頭、平均価格が三万四、五三三円となっています。前月比四万四、五一八円、四月比五万二、一九六円それぞれ上回っています。

航空防除は、七月二十五日と八月五日の二回実施し、面積はそれぞれ三〇六畝（前年比八七・七増）となっています。また、無人ヘリコプターでは二二畝の防除を行っています。



▲行政報告する阿部町長

極端な水不足に見舞われた今年は、稲作をはじめとする農作物に被害が出始めたことから八月十日に「干ばつ応急対策会議」を設置しました。用水不足の被害面積は水田で一〇〇〇ヘクタール。このため、揚水機の設置や草地の更新などへ、県補助金にかさ上げして補助を行う予定です。

昭和三十八年に完成した八塩ダムは、底樋や余水吐からの漏水が発見され調査を行っています。

昨年度まで県内二〇市町村で松くい虫の被害が確認されていますが、六月二十四日日本町でも疑わしい枯松が発見され、調査の結果「松くい虫」と確認されました。今後は、県、関係市町村等と連絡を密にし、駆除などについて万全を期する考えです。

温泉保養センターなどの 工事請負契約に同意

町活性化拠点に建設される産地形成促進施設、温泉保養センターの工事請負契約に同意しました。

工事名、契約金額、契約業者は次のとおりです。

《産地形成促進施設（本体工事）》▽

契約金額・一億三

千二十九万五千円

▽契約業者・長田

建設、村岡建設

建設工事共同企業

体《温泉保養セン

可決された 主な議案

奥ヶ沢工区開通は13日



▲きつねのレリーフも公開された童画のトンネル付近

四月十二、十三日発生の融雪による

河川災害十七か所の査定が八月三十日に行われ、四、八八二万五、〇〇〇円と査定されました。

県道羽後向田館合線は、本年度分（事業費五、〇〇〇万円）が七月二十七日に発注となりました。仁賀保矢島館合線館合バイパスは、四二〇メートルの下層路盤工と新沢川にかかる橋の下部工（事業費一億三、〇〇〇万円）が完成の予定です。川原田橋の架替工事は本年度、下部工（事業費九、六〇〇万円）が完成の予定です。

三ツ森山林道は本年度、一億一、九〇〇万円の事業費で進められる計画です。昨年度に引き続き、一工区が茂沢集落側から、二工区が旧倉集落側からそれぞれ工事が進められています。

国道一〇七号板戸工区は、現在航空

とするもの。主なものは、▽財政調整基金積立金一千三百四十六万円▽農村総合整備モデル事業費一千八百五十三万円▽道路新設改良費四千二百三十一万七千円▽公共土木施設災害復旧費五千四百五十六万七千円などとなっています。

平成5年度の決算を認定

歳入総額四十五億七千三百三十九万二千八百円、歳出総額四十三億七千九百五十四万三千四百四十五円の平成五年度一般会計決算ほか七特別会計決算を認定しました。

（決算の概要は五頁に掲載）

撮影が終わり、今年中に予備設計が完了する予定です。調査区間は板戸集落入口から久保方向に二、七〇〇メートルの間です。また、奥ヶ沢工区は、十月十三日に竣工式が行われ開通します。

水道関係では、水不足が心配されましたが、節水の協力もあり、断水は回避できました。「ボツメキの水ありがたや」を実感いたしました。

広域関係では、一市五町で使用する本荘由利広域清掃センターごみ処理施設の竣工式が八月十一日に行われました。総工費は四二億一、七三七万円。地下一階地上五階の建物で延面積が三、六六二平方メートル。一日十六時間稼働で九七トンの処理ができる施設です。

監査委員に佐藤恒悦氏

九月三十日の任期満了により町監査委員を退任された長谷山喜市郎氏（下通・七九歳）の後任に佐藤恒悦氏（館西・六四歳）を新任する案に同意しました。



佐藤 恒悦 氏

教育委員に笹本氏を再任

九月三十日に任期満了の町教育委員に笹本信也氏を再任しました。

一般質問

小松久徳議員 ①リサイクル一時保管小屋

設置の考えは②活性化拠点施設にキャッシュカードサービスコーナーの設置を③里道整備事業の継続を④町スポーツ祭に大会旗を

町長 ①粗大ゴミ捨場への一時保管小屋よりもリサイクル運動を推進したい②将来的な構想の中で考えていきたい③当初計画されたものは整備できた。今後は高齢者福祉の観点から計画を策定したい④来年に向け検討したい

梅津栄一議員 ①年間無火災達成のため分団対抗競争の企画は②郡市消防大会の誘致を③干ばつ被害に助成を④大琴地区に宅地造成を

町長 ①無火災達成の目的は同感であるが、火災を出した家の精神的なことを考えて慎重に

総務常任委員長の決算審査報告

長期展望に立った財政運営を



報告する
委員長
平忠
委員
藤遠
審査
総務

議会最終日の九月三十日、遠藤忠平総務委員長が、付託されていた平成五年度各会計歳入歳出決算の審査結果について「原案どおり認定すべきもの」と報告しました。

報告の中で遠藤委員長は「財政運営の健

重に対応したい②会場の問題などをクリアできれば可能③県補助金のかさ上げなどで対応したい④過疎地域活性化後期計画の中で検討したい

畑山作喜議員 ①小規模ため池の改修や新設に助成を②山間地の水路整備に助成を③町内湧水（清水）の保護整備を④施設整備による将来の財政運営見直しは

町長 ①町単でできる範囲で整備していきたい②今後の課題としたい③思いは同感である。考えていきたい④起債制限比率などの問題を考慮し、財政的にも将来を考えた計画である

小松慎一議員 ①活性化拠点施設の基本的な考えは②活性化拠点施設の起債の償還計画は③年間起債償還額が町民一人当たり一万円になることへの考えは④「ガット合意」の国会承認に反対を⑤水道維持管理を万全に⑥中山間地対策への考えを⑦消費税廃止の考えはないか

町長 ①町内の資源活用の拠点であり、町の核となる施設である②平成五年度から七



▲活性化拠点施設が本格的に工事開始

年度まで十一億七百四十万円を起債する。半年賦元金均等償還で十五年償還（内三年据置）と考えている。年七厘の利率で計算すると交付税算入以外の一般財源償還額は七億六千万円台。単純に平均すると一年当たり五千万円弱となる③起債償還額は町民一人当たりに換算すべき性格のものではないと考える④賛成、反対ではなく、農業、農村振興にそれぞれの立場で全力を尽くす

べきと考える⑤計画的に整備して行きたい⑥地域の特性を生かしつつ、振興策を検討したい⑦社会的に認知された税と思う
佐藤萬一議員 ①温泉施設等の支配人、職員の採用の見直しは②産地形成促進施設で提供するものの選定を早めに③温泉の泉質PRの徹底を
町長 ①支配人等は早めに決めたい。職員訓練期間、会社設立を考慮して職員を採用したい②わが町の特色あるものを売り出したい③「体にきく良い温泉」として泉質をPRしたい
小松賢議員 ①米の売り渡し限度数量設定に農家の努力を勘案して決定を②東北電力の送電線を八塩の景観を損なわないように③いこいの森隣接地の自然林の保護を④田代バス停に待合室の設置を
町長 ①努力を数字で表すのは大変難しい②道と同じ公共性をもつもの。「できる条件整備には全力を尽くす」と言っているので協議していきたい③保護する方向で検討したい④羽後交通と協議していきたい

一、庁内各課・機関間の連携不備から十分な行政効果が期待できなかったと思量される点が見られた。各課等の連絡調整に一層の改善工夫を求めたい。

二、町営斎場の施設内外の清掃を含む管理体制の早期拡充を望みたい。

三、職業の多様化等から消防団員の欠員補充など団員確保が困難となっている。機構改革を検討すべきである。

四、消防団緊急伝達装置の難聴区域への改善には速やかに取り組むべき。また有事の際の町内全域へのスムーズな伝達対策を早急に確立すべきである。

五、法内・袖山・住吉の旧小学校体育館

（公民館分館）はいずれも利活用・管理の両面で問題が大きい。改善のための強力な指導など配慮を望みたい。

六、町実験農場の成果を土台に農家への技術指導の充実を図り、特産品の開発に結びつけられるよう、継続を前提とした運営方針を明確にすべきである。

七、「由利牛の里」を標榜している本町として肥育牛対策は避けて通れない課題。活性化拠点施設の完成後は、同構内で常時提供・販売が可能となるよう検討されたい。

八、民有林の活性化・林業経営の充実等のため、町の林業担当課・係など、組織体制の充実強化を図られたい。



▲牛はもちろん放し飼い。とにかく広い

スケールの大きさ、情熱に感銘

農業委員会アメリカ農業視察レポート

会長 鈴木和夫

農業委員十六名と町事務局一名は、九月六日から十二日までアメリカカリフォルニア州を視察した。

稲作の視察地は、バレーホーム市郊外のコロニアルファーム社で、水稻の経営面積は一二九畝。稲の背丈は四五センチ程と低く、籾数は一二〇粒程であった。一〇畧当たり収量は、玄米換算で七四〇キログラム。ほ場の大きさは、一枚平均三・二畧。経営者のホフマン氏は「米作りは決してもうかる仕事ではない。減反政策への参加、不参加は自由。ただ参加しないと一〇〇畧当たり五〇〇

万円の補助金がもらえない。あきたこまち、ササニシキについては、収量面、技術面から作付は考えていない。近い将来技術が確立されたら日本にも売り込みたい」と話した後、「私が作った米が売れるか売れないかは消費者が決めることだ」と話したのが印象的だった。

一方、畜産の視察地は、シスコとロサンゼルスの中間にあるハリス牧場。飼育頭数が一〇万頭、管理者一三人、獣医師四人で一日当たり七、八頭が廃用となる。四月から十一月はほとんど雨が降らず、十一月から四月までも二七〇ミリの程度の雨。このような天候のため、排泄物の処理は容易だが、水の確保が大変。山に降った雪の量でその年の水の値段が決まり、気の遠くなるよ

うな距離を水路で水を引く。水不足になれば優先順位は、生活用水、工業用水、農業用水の順であり、水をいかに確保できるかがポイントであった。

一番の関心事「米の輸出」に対してロサンゼルス市内の消費者は「過去十年間足らずの間に食生活の見直しで、米の消費量が一〇倍に。昨年の日本の冷害で大量に輸出したため、米の値段が三倍になったこともあり、大消費地では、米の輸出には猛反対。政治家は多くの民の言うことを聞くから輸出熱も程なく冷めるだろう」とジョークともとれる言葉にホッとしたりした。

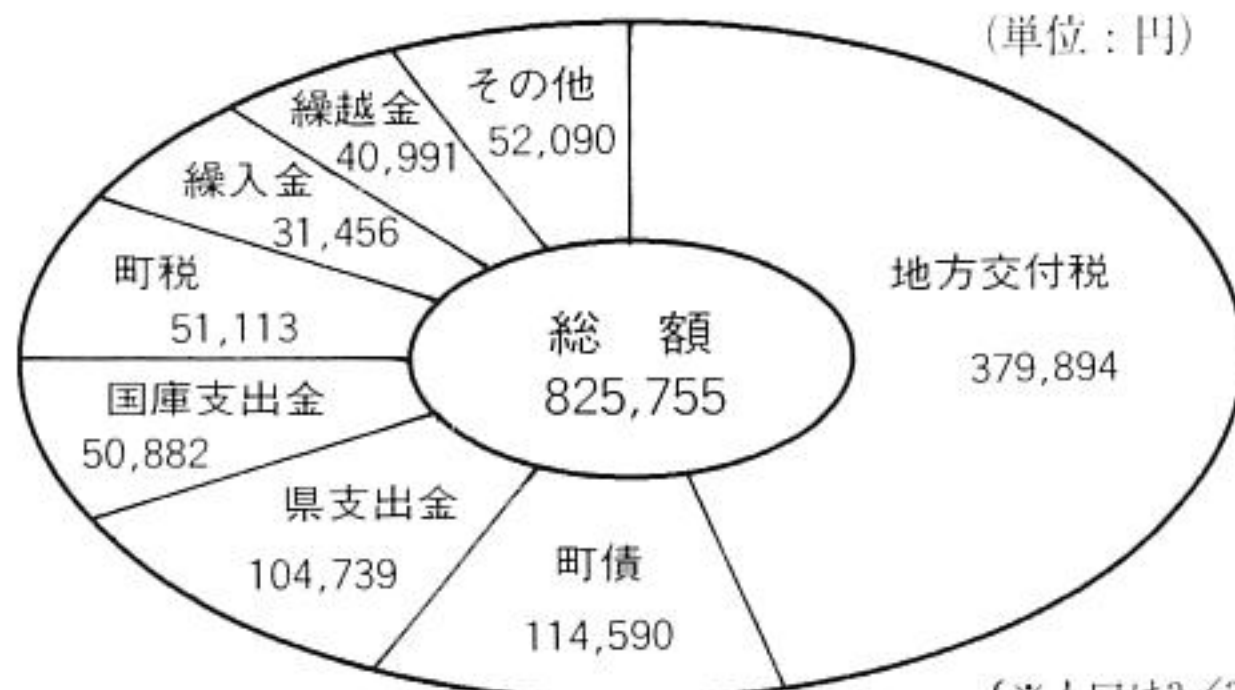
スケールの違いはともかく、農業に対する情熱はこの国でも同じと感じた七日間であった。

平成5年度決算状況

町民1人当たり70万円

歳入（町民1人当たり）

（単位：円）



（※人口は3/31現在の5,538人）

歳出（町民1人当たり）

（単位：円）

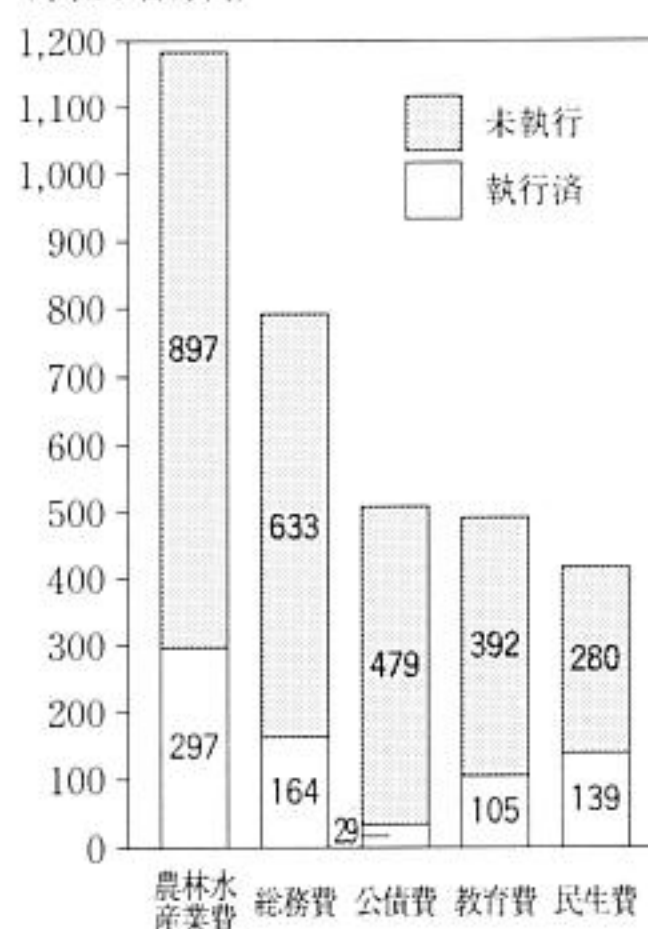


目的別一般会計決算

（単位：千円）

《支出》		(単位：千円)		
項	目	平成 5 年度	平成 4 年度	比較(増減率)
議	会 費	78,041	74,396	4.9
総	務 費	642,125	589,805	8.9
民	生 費	703,178	300,165	134.3
衛	生 費	217,270	189,838	14.5
労	働 費	11,184	16,743	△33.2
農	林水産業費	1,015,320	981,534	3.4
商	工 費	11,537	9,216	25.2
土	木 費	328,453	560,363	△41.4
消	防 費	145,414	129,704	12.1
教	育 費	491,247	440,895	11.4
災	害復旧費	237,161	141,752	67.3
公	債 費	489,314	481,504	1.6
諸	支 出 金	9,299	44	21,034.1
予	備 費			
合	計	4,379,543	3,915,959	11.8

（単位：百万円）



平成6年度予算執行状況
執行率21・8%
八月末現在の平成6年度予算執行状況は、一般会計の歳出で二一・八パーセントになっています。
主な経費の状況は次のとおりです。

合同竣工式

6事業の完成を祝う

全体で33億の事業が完了

農村総合整備モデル事業東由利地区、一般農道整備事業八沢木地区、農林漁業用揮発油税財源身替農道（略称、農免農道）整備事業鳥台地区、団体営農道整備事業鞍骨地区、同若林地区、デイサービスセンター、在宅介護支援センター「いちよう館」の合同竣工式が九月二十一日、健康増進センターで行われ、関係者約三百人が出席し、完成を祝いました。

快適な生活環境に

農村総合整備モデル事業は、昭和五十五年の町の生活環境一新を図るために着手、十五年間に農道整備二五地区をはじめ、防火水槽、農村公園、集会施設などが整備されました。総事業費は一六億九、九〇〇万円。町内一円を対象としたこの事業により、集落内の環境がさらに充実したものになりました。

一般農道整備事業八沢木地区は、本町と大森町を結ぶ広域関連農道として、昭和五十五年に着工され、本年度で本町分三、九三四メートルが完成しました。総事業費は六億五、三五〇万円。農業交通はもとより一般交通面からも大きな期待が寄せられており、今後は、一日も



▲館合農村公園（モデル事業で完成）で遊ぶ子供たち

早い全線開通が望まれています。

農免農道整備事業鳥台地区は、黒沢大台地区と大琴地区を結ぶ道路で、県営事業として平成元年に着工され、昨年一、七五四メートルが整備されました。総事業費四億一、八〇〇万円。長年にわたり関係農家の要望が大きかった路線であり、農産物の運搬や緊急時の県道の代行路線として利用が見込まれます。

団体営農道整備事業鞍骨地区は、新処地区と宮の前地区を結ぶ一、八二四

メートルの道路で、総事業費は一億六、六〇〇万円。また、同事業若林地区は、大台地区と町道根小屋線を結ぶ一、七〇五メートルの道路で、総事業費一億一、六九〇万円。両農道とも農業生産物の流通と共に、両地区の交流の道として期待されています。

「東光苑」に付設して建設された在宅介護支援センター、デイサービスセンター「いちよう館」は、木をふんだんに使い、床面の段差をなくし、床暖房や特殊浴槽も整備されています。鉄筋コンクリート平屋建で床面積が五九四平方メートル。総事業費二億三、七〇〇万円。「長寿社会を共に寿ぐ町」の拠点として大きな期待が寄せられています。

竣工式では、阿部幸悦町長が「合併四十年、町制施行二十周年の今年、生産基盤、生活環境基盤、福祉施設等の完成を町民と共に喜びあい、計画立案から完成までいろいろとご指導ご援助をいただいた県当局、関係者に対して心から敬意と感謝を申し上げます」と式辞を述べた後、阿部剛町議会議長が「本町は、緑豊かな大自然に囲まれた美しい環境にある。この環境を守りつつ、快適な生活環境の整備ができたことはとても喜ばしい。この事業完成をバネに、活力ある町にしよう」とあいさつ。その後小山田嘉市県由利地方部副部長、村岡兼造衆議院議員秘書、由利郡町村会長の前川盛太郎岩城町長から祝辞をいただき、式典が閉じられました。



▲約300人が出席した合同竣工式

町長日記

町長 阿部 幸悦

ダイヤモンド婚までお元気で

昭和四十三年以来の合同金婚式をとり行うことができました。例年金婚式のお祝いは敬老会と同じ時に行われておりました。

敬老会にご承知のように七十歳以上の皆さんであります。金婚式の対象者は七十歳未満の方もおられ、敬老会と一緒に出にくいということや、伴侶をなくされた方も多い中二人そろって面映ゆいということもあってなかなか出席率も悪いものでした。いつかは単独でこのお祝いをするべきだと思っておりました。が、二十六年ぶりに実現することができました。

いつまでもお幸せに

合同金婚式

13組をご招待



▲式典の前に記念撮影

平成六年度町合同金婚式が九月十六日、有鄰館で行われ、案内者十三組のうち八組の夫婦と三人が出席しました。

金婚式は、昭和四十三年九月十五日、敬老行事の一環として東由利村が郡内で最初に実施。当時は県内でもまれな行事で、三十二組の方が出席されました。翌年からは、七十歳以上の方を対象にした敬老会を町内七か所で行うことにしたため合同で実施、昭和五十三年には、有鄰館が完成したのを機に、敬老会を六月に行うようになり、昨年まで敬老会の中で金婚の方をお祝いしていました。

別のものではといった意見があり、町では、今年度から敬老会を六月に、金婚式を九月に行うことにしたものです。

式典では、阿部幸悦町長のあいさつに続き、阿部副議長が「昭和十九年の戦争まっただ中に結婚され、戦後の混乱期を乗り越え、五十年間の長きわたりお互いに支えあってきた皆さんにとって今日は、私たちが想像もできない感激のこととお慶び申し上げます。いつまでも健康で長生きしてください」とお祝いの言葉を述べました。引き続き、金婚を迎えられたご夫婦に祝い状を贈呈しました。

祝宴では、これまでの苦労話を交えながら、お互いにいつまでも長生きしようという交流を深めていました。

皆さんは、日本が世界を相手に戦争をしてしかも敗色濃い昭和十九年に結婚式を挙げられたのであります。今の時代からは想像もつかない時にお二人の出发点があつたのであります。そして終戦を迎え、戦後の混乱を極めた時代を、子育てをはじめ力を合わせて頑張り抜いて来られたのでした。そして五十年、いま沢山の感慨をかみしめておられることでしょう。皆さんの頑張りがあつて今日の日本も東由利町もあるのです。これから健康に氣をつけられて、お二人仲良く過ごされますことを御祈念申し上げますと、心からご挨拶いたしました。

残念ながら入院中とか、都合が悪くてと一人で出席の方もありましたが八組のご夫婦と三人の出席でありました。お互いにはじめてお会いするという方もおら

れましたが、「同期の桜」の思いが強くすぐになごやかな雰囲気になりました。

踊りの会の皆さんの熱気に誘われるがごとく職員がマイクを差し出すと一応は遠慮しておりましたが、金婚式にあわせて自作であろう「詞」で朗々と謡いをつたってくれたり、鉛筆がきの自作の歌詞を、やおらハンドバックからとりだして伴奏なしでしっかり三番まで歌ってくれたり、たいへん盛り上がりました。今年から条例化した「ほのぼの祝い金」の話をし子供の数の少なさをなげいたら、「もうひと頑張りして祝い金をもらうか」といつてくれるほど若々しい皆さんでもありました。

どうぞダイヤモンド婚（七十五年）までお二人ともご壮健でと祈念した金婚式でありました。

はい!!
役場です

梅津ヤスさんが101歳に



▲満101歳を迎えられた梅津ヤスさん（写真中央）

健康保険法等の一部を改正する法律が十月一日に施行され、入院時の食事負担額の創設、出産時の一時金が引き上げられることになりました。

出産前後の諸費用の家計負



医療保険制度が改正

出産一時金が30万円に

健康保険法等の一部を改正する法律が十月一日に施行され、入院時の食事負担額の創設、出産時の一時金が引き上げられました。

一方、入院時の食事は、生

村民税の非課税世帯や入院日数が九十日を越えた場合などは、二百円や四百五十円に軽減されます。ただし、この軽減の適用を受ける場合は、申請書を提出し、認定を受けることが必要です。

このほかにも、看護、介護体制の充実、在宅医療の推進などが盛り込まれており、将来にわたり良質な医療を安定的、効率的に享受して行くことができると配慮されています。

町一番の長寿者で町功労者の梅津ヤスさん（大琴）が九月五日、満百一歳を迎え、町では長寿祝い金を贈呈しました。昭和六十二年に町長寿祝金条例が制定されて以来、百一歳の祝い金が贈呈されたのは、梅津さんで三人目。

梅津さんは、明治二十六年、平鹿郡川西村（現大森町）で十一人兄弟（男六人、女五人）の一番上の長女として生まれ、大正二年に本町に嫁いできました。若いころは近所から頼まれた代筆や裁縫に精を出したと言います。

三年前から床についていることが多くなっていますが、食欲もあり、気分の良い時は、

歌を歌ったりするときもあるそうです。生たまごを朝夕一個ずつ、野菜を細かくきざんだものなど三、四品を四十分から一時間かけてゆっくりと食べます。介護を主に担当しているミチさんは「今年の夏は特に暑かったことから、背中に扇風機で風を送ったり、麦茶を飲まして水分を補給したり、特に風邪をひかせないように注意した」と話しています。

当日は、阿部幸悦町長がお祝いに訪れ、梅津さんに「体具合はどうですか」などと気遣いながら祝い金を手渡ししました。

虫歯なんてないもん。

1歳6カ月児
健診より



▲高橋 和希くん
(杉森・忠広さん長男)



▲佐々木将人くん
(大琴・精人さん長男)



▲小野 俣太くん
(館合新田・長清さん二男)

▲畠山 千尋ちゃん
(大吹川・誠さん二女)

▲長谷山紗也果ちゃん
(時雨山・宗市さん長女)

住吉地区町政座談会

9月13日・八塩館・約40人が参加

問 道の駅と関連施策の進捗状況は

答 道の駅は、平成七年度に完成予定。隣接する町活性化拠点施設のうち、温泉保養施設等は、来年九月の完成、十一月のオープンを予定している。

問 八塩開発の進捗状況は

答 水辺環境整備等の補助事業も念頭において整備したい。ダム周辺は今年度から、県営老朽ため池等整備事業で整備

される計画。平成八年度には、八塩二号線が完成する予定。八塩山を中心に、全体の整備を進めて行きたい。

問 ダム周辺の桜植樹計画は

答 県内最後の観桜会としてPRしており、桜を中心とした植樹は賛成である。細部については検討中。

問 県道羽後向田館合線の見通しは

答 平成七年度には向田集落の手前まで、その後は郡境から整備する予定。集落内は最後に整備される見通し。

問 冬期間に備えて、泡ノ瀧大吹川の急坂整備を

答 泡ノ瀧地区は、カーブを緩やかにする方法で検討したい。大吹川地区は、県道全体の計画の中で整備するよう要望して行く。冬期間は、除雪の徹底と融雪剤で対応したい。

問 葎沢地区と黒瀧・大橋場地区に防雪柵を

答 葎沢地区は、除雪計画の中で対応したい。黒瀧・大橋場地区は、農道との接点の問題なので、冬期間だけ設置が可能か現場を見て対応したい。

合併四十年、町制施行二十周年記念文化講演会が九月十一日、健康増進センターで行われ、二百人余りが聴講しました。講師は、テレビ、ラジオでおなじみの牟田悌三氏。「人生って支えあいつこ」と題した講演で牟田氏は、何もかも便利になり、欲しいものがすぐ手に入る現在、忘れかけていた心の触れ合いの大切さを強調しました。

ものがほとんどありません。物質的には豊かになり、生活水準も年々向上し、便利になりました。しかし、人間とは便利になると心のどこかに甘えが生じ、感動というものを忘れてしまう傾向にあります。

くなりました。いわゆる無関心、無表情の子供が多いことに気づいたのです。そこで私は、不足を探してみようという考えました。そして考えついたのが、ハンディキャップという不足です。

た私は、世田谷区の公立中学校に呼びかけて、参加してもらうように説得して回りました。「ボランティアスクール」と違い、介護の仕方とか車椅子の押し方とかを学ぶのではなく、「自分で人間として大

生たちは、いろいろな発想で取り組み始めました。歌や絵を作ったり、中には、障害者の人と野球をしたり、自分たちと障害者の方との垣根が徐々に外れていくのを感じ取っているようでした。

文化講演会



講師・牟田悌三氏(俳優)

『人生って支えあいつこ』

講演要旨は次のとおりです。

「生きてるってすばらしい」

何もかも欲しいものがすぐ手に入る現在、不足している

つまり今は、「不足が不足している時代」と言えます。欲しいものを獲得したときの喜び、そして、その過程でお世話になった人への感謝という気持ち人間を育てて来たということを忘れている人が多い

障害を持っている人と触れ合うことで、今まで想像もできなかった経験を経ることができ、それを感受性豊かな中学生が体験したら、子供たちの人生に少なからず影響を与えるに違いないーそう判断し

切なものを学ぶチャンスを与える」というもので、中学校の校長先生も最初は多少の戸惑いがあったものの、ほとんどで引き受けてくれました。そこから私のボランティアへの道が始まりました。中学

「生きてるってすばらしい」ということを発見した子供たちは、「生きるということに懸命になっている素晴らしさ、みんな支えあっていく大切さ」を実感しながら、社会へと巣立っていきました。

人間社会の中で、物質の豊かさとは反比例していく心の豊かさを今一度見直してほしいと感じました。

県畜産共進会

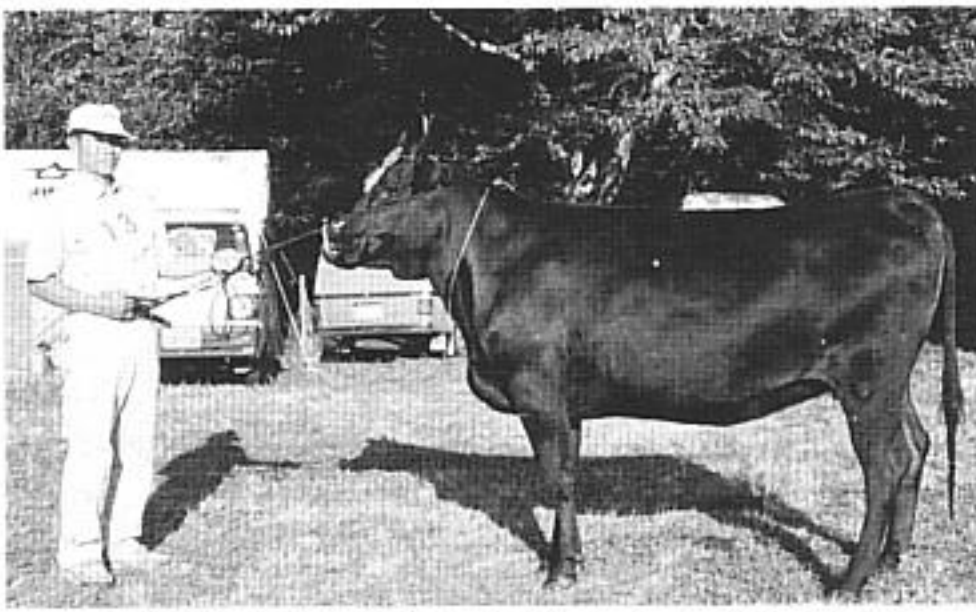
第4ふくはな8号が
優等賞を受賞

第八十三回秋田県畜産共進会が九月四日から六日まで、河辺町の県中央家畜市場で開かれ、肉用牛若牛の部（十七〜十九か月）部門で、阿部仁志さん（岩館）飼育の第4ふくはな8号が優等賞を受賞しました。

同共進会には、郡共進会の上位入賞牛が出陳され、本町からは、黒毛和種七頭、ホルスタイン種、ジャージー種それぞれ二頭ずつの計十一頭が出陳されました。

一等賞から三等賞は次のとおりです。（敬称略）

《一等賞》▽第9みきはな（石高・横山隆一）《二等賞》▽さつき（蔵・阿部善信）▽さ



▲優等賞を受賞した第4ふくはな8号

とみ（館合新田・小野一郎）
▽ウイロー ロマンズ トリ
ストラム ポコ（島・畑山克
司）《三等賞》▽ふくえ（葎
沢・佐藤松喜）▽きさらぎ
（須郷・武田秀夫）▽あきひか
り9（館合新田・高橋勝美）
▽フイーンランド リリー
デイクシーリー（舟木・大庭
喜一郎）▽フイーンランド
スノーバーク ケンドール
（同・同）▽ウイローロマン
ズ パフォーミング プリン
セス（島・畑山克司）

東光苑体育祭

保育園児と交流深める

東光苑体育祭が九月七日、同苑ホールで行われ、入居者と永慶保育園児が交流を深めました。ボール送りや玉入れは、入居者と園児の共同作業。「ガンバレ」と声援を送る人や太鼓や鈴などで盛り上げる観覧者も見られ、会場内は大にぎわいとなりました。



▲ボールを渡すタイミングもピッタリ

町酪農研究会

創立20周年を祝う



▲乾杯はジャージー牛乳で

町酪農研究会（小野勲一会长）の創立二十周年祝賀会が八月二十九日、八塩いこいの森で行われ、酪農関係者二十人余りが出席しました。

本町の酪農は、昭和三十三年にオーストラリアからジャージー種を導入したのがきっかけで、牛を主体とした現在の本町畜産の中で最も古い歴史をもっており、和牛飼養の基礎を作ったともいわれています。同会は、三十三年当時から結成され、町制施行と同時に組織化されました。

祝賀会では、小野会長が「本町の酪農家は四戸と少なくなりましたが、これからも一致団結して伝統を守って行きたい」とあいさつ。乾杯は、酪農家の集まりにふさわしく牛乳で行われ、参加者は心ゆくまで二十周年を祝っていました。

八塩小スクールバス

新「やしお号」登場

八塩小学校のスクールバス「やしお号」が新しくなり、九月一日から運行を開始しました。

新しいスクールバスは、六色のカラフルで明るいデザイン。これまでのバスより乗降口が広く乗り降りが楽なことや窓が大きく眺めがよいことなどが特徴です。バスを利用している六十八人の子供たちは、「バスに乗るのが楽しみ」と大喜び、歓声を上げながら通学を楽しんでいます。



▶新しいバスに子供たちも大喜び



郡市水泳大会

彩子さん(八塩小)が準優勝



▲健闘した八塩小チーム

第二十六回本荘市由利郡小中学校水泳大会が八月二十日、本荘市民プールで行われ、六年女子五十メートル自由形で八塩小の古関彩子さんが準優勝に輝きました。

同大会には、本町からは八塩小が出場。当日は、曇り空で時折雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、子供たちが力泳をみせました。

六年女子五十メートル自由形は、一位から六位までの差が百分の八秒という混戦。彩子さんは、百分の四秒差で二位、佐藤綾さんはそれより百分の三秒遅れて四位に入賞しました。

また、彩子さんは、五十メートル背泳ぎでも五位に入賞、学校対抗女子二百メートルリレーでは同小が六位に入賞しています。

秋季選抜野球

パワーズが制覇

第一回東由利町社会人野球秋季選抜大会が九月十一日、勤労者野球場で行われ、パワーズが初優勝を飾りました。

同大会は、春のナイター野球、夏の社会人野球に続き、秋にも野球大会をとの要望を受けて、町野球協会が秋田ルビコン株式会社協賛を得て開催したもので、夏の大会でベスト8に勝ち進んだチームが参加しました。

当日は、一日で七試合を行うため、試合時間を一時間三十分に限定。精鋭八チームが熱戦を展開しました。

パワーズと秋田ルビコンが対決した決勝戦は、雨中の最悪のコンディションにもかかわらず白熱した試合となり、終始押し気味に試合を進めたパワーズが優勝を飾りました。

試合結果は次のとおりです。

パワーズ		0		5	
1	5	7	2	1	0
1	5	3	0	不戦勝	1
玉新ライオンズ	モンスターズ	パワーズ	役場タキオン	宿	秋田ルビコン
				ジパング	

高瀬小で式典

開校10周年を祝う

高瀬小学校創立十周年記念式典が九月十七日、同小体育館で行われ、関係者約三百人が十周年の節目を祝いました。

同小は昭和五十九年四月老方小と蔵小

が統合して開校。町内の小学校で最も児童数が多く、陸上競技や野球などの活躍で知られています。特に今年は、郡市陸上競技大会四百メートルリレー

大会、東北大会出場と開校十周年に花を添える大活躍の年でした。

式典では、小笠原慶悦十周年記念実行委員長が「高瀬小は、地域文化の拠点として整備され、諸先輩方の努力で着実に発展してきた。十周年の節目に当たり、今後益々の発展を祈念する」とあいさつ。引き続き、佐藤正治校長が「美しい花、豊かな樹木をは



▲式典には約300人が出席

じめ、グラウンド、遊園地、プール、観察コースなど、町父兄、地域の方々が一丸となつて整備していた。これらのご協力に感謝申し上げ、子供たちの限りない可能性に期待し、さらなる前進を誓う」と式辞を述べました。

式典の後は、子供たちが春の田植え作業や秋

の収穫作業など同小の一年間の出来事を歌や劇で発表、会場からは盛大な拍手が送られていました。

その後は、親子ふれ合い活動やレクリエーションなどで、楽しい一日を過ごしました。



▲全校児童が参加した「高瀬太鼓」

HIGASHIYURI

東由利の話題

TOPICS



町の宝もの

29

新田（玉米）獅子舞

新田獅子舞は、練習はじめての獅子開きを例年六月十五日、愛宕神社のお祭りとおわせて行い、お盆の八月十三日には、部落内をまわり演じています。前獅子舞・後獅子舞・もちつき舞いの三部構成で、お盆には前獅子舞で家内安全と厄払いを祈願し、特に、お産結婚、新宅などおめでたいときには、後獅子舞・もちつき舞を演じます。また、部落入口では厄が入らないようにと道切りの舞を演じています。館合の

広報クイズ ⑦

次の☆印に必要な数字または文字を入れて応募してください

①国道一〇七号奥ヶ沢工区は☆日に開通

②文化講演会の演題は「☆☆って支えあいつこ」

③県畜産共進会で優等賞を受賞したのは第4ふくはな☆号。

※官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんで

鹿島神社祭典で同神社の獅子と共に舞を奉納しています。

また、ご神幕は、二百年以上も伝えられている貴重なものです。

※前号の先手観世音菩薩像に刻まれている小松金三郎は、高戸屋の小松慶治郎さんの先祖との事です。

（文・畑山昭二）



も結構ですので、書いて出してください。

※あて先／東田利町老方 東田利町役場広報係あて

※締切／10月15日（当日消印有効）

※全問正解者の中から抽選で5人の方に素敵な写真盾をプレゼント。

※先月は12人の方から応募がありました。抽選で次の5人の方に写真盾をプレゼントします。

▽畑山積さん（江戸川区）▽小野昭枝さん（下通）▽寅田文和さん（新町）▽佐野隆雄さん（新町）▽畑山文三郎さん（江戸川区）。

応募ありがとうございました。

沢庵漬けを噛る音

いつまでも元気でいたい、健康でありたい願いは万人共通である。そのためには自己管理が徹底していなければならないのだが、なかなかそれができない。心構えとしては十分意識しているつもりが、日常の実践では手を抜いてしまうケースの方が実に多い。

歯を磨く習慣も幼少から生活習慣の一つとして実践してきたが、その方法が医学的に合理的かどうかは甚だ疑問である。そして磨くことを怠るか、忘れるかもしれない。

また、皆歯を磨いておりながら、結構歯の病気が多いようである。私も定年を迎えるまで歯科医の門をくぐった記憶がなかった。そして虫歯のないことを誇りにしてきたのだが、還暦の声を聞いたとたんに歯痛を体験し、歯科医のご厄介になった。そうやって初めて予防の大切さが身にしみる思いである。歯痛のあの不快感、食物を咬めないもどかしさなどは、経験しないにこしたことはない。

健康とは歯を含めて五体が満足に機能している状態だと思うが、カリッ、カリッといわゆる歯切れのよい、沢庵漬を噛る心地よい音を、自分の歯に期待できないことはまことに残念である。

町保健対策推進協議会

会長 小松 順之助

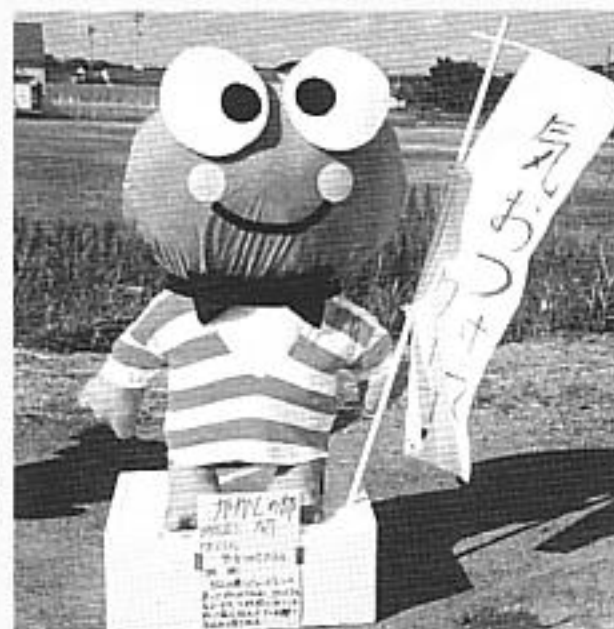
町交通安全協会（長谷山光会長）では、秋の交通安全運動の一環として「かかしコンクール」を行っています。締め切りは十月二十一日。

同コンクールは、交通安全の大切さをPRしようと町交通安全協会が、町安全運転管理者事業主会（大沼武且会長）と町交通安全対策協議会（阿部幸悦会長）に呼びかけ行っているもので、作品は、町産業文化祭の会場に展示されます。

最優秀賞（町交通安全協会賞一点）

かかしコンクール作品募集 最優秀賞はビデオデッキ

象潟町で行われたかかしコンクール（写真提供・象潟町）



にはビデオデッキ、優秀賞（町安全運転管理者事業主会長賞一点）には十四型カラーテレビ、努力賞（町交通安全対策協議会長賞一点）にはコンパクトカメラがそれぞれ贈られます。

コンクールに参加される方は、作品完成後、町交通安全協会事務局（役場・交通安全担当）に連絡が必要。十一月五日町産業文化祭会場で審査を行い、入賞作品三点が決定されます。

詳しくは、役場・交通安全担当まで。



走った、跳んだ、そして笑った…

みんなで楽しんだ運動会

▶笑顔いっぱいのお客様席



第1回町スポーツ祭が9月4日、町民グラウンドで行われました。

雨が少ない今年の夏でしたが、当初予定されていた8月28日が雨のため4日に順延。爽やかな秋空となった当日は、17種目で心地よい汗を流しました。当日の模様をスナップでどうぞ。

いきいき、クローズアップ

▶クリーン作戦はすっかりおなじみ。缶を箱に入れながら走ると速いヨ



▲総合優勝の石高自治会



▲「ウォーリヤー」
力いっぱいの走り幅跳び



▲風船をつなぐのに一苦労の
“軽く二連発”



▲子供たちが大勢参加した
借りものの競争

自治会対抗成績

《クリーン作戦》

①祝沢・茂沢②上里③石高

《ゲートボールレース》

①時雨山②大琴③岩館

《ちぐはぐドリブル》

①石高②蔵③袖山

《軽く二連発》

①小倉②向田③祝沢・茂沢

《総合》

①石高②祝沢・茂沢、上里③時雨山

【スポーツ祭上位自治会】

1位	石高自治会	75点
	大琴自治会	75点
3位	下通自治会	64点
4位	祝沢・茂沢自治会	62点
	上里自治会	62点
6位	新町自治会	60点



▲ゴールは笑顔で。中には子供を“持参”する人も



▲気持ちは前に、でもボールは横に…



▲一生けん命走った日



★わが家のアイトル★

横渡・遠藤 吉明ちゃん

(H4・6・15日生まれ)

茂さんとトモ子さん

の二男

「お兄ちゃんと仲良しでお風呂も一緒。外では水遊び、中はテレビ鑑賞の毎日。友達と仲良く遊べる子になってほしい」とお母さんのトモ子さん。

東由利——ニースダイジェスト18

あめの日・あめの時

合併当時を振り返る

11月3日に新村 発足祝賀式を挙行

昭和三十年十一月三日、下郷玉米両村が合併して東由利村となったことを祝う祝賀式が下郷中学校講堂で行われました。

式には、国、県、隣接市町村長、村内団体役員など二百五十名が出席しました。梅津千代太郎村長が「旧来の慣習や情実から逸脱して時代に適応した施策のもとに新村建設に向かって邁進すべき決意と覚悟こそ合併の趣旨に合致し、住民の福祉を向上せしむる所以である」と式辞を述べ、来賓多数の祝辞をいただき式典が閉じられました。



▲祝賀式を伝える村報4号

また、村では「全村民で発足を喜び合おう」と記念品を全戸に配布しました。

それから四十年を迎える今年十一月一日には、「合併四十年町制施行二十周年記念式典」が健康増進センターで行われる予定です。

◆東由利の文芸◆

せせらぎ句会(九月句会)

かなかなはいずこに生きて鳴きしやら
 蛸に黄ばむ田の面は夕影る
 高温に蛸出番くるいけり
 蛸や丸木二本の沢の橋
 蛸や懐かし妹の宅急便
 蛸や手弁当ひらく村社
 蛸の声より高く歌う母
 かなかなの一同に鳴く大櫓

小松 忠正(下通)
 工藤 武雄(山崎)
 小野 貞子(蔵新田)
 高橋民治郎(袖山)
 小松慶治郎(高戸屋)
 嶽石 レイ(五海保)
 阿部 俊子(横渡)
 小笠原トミ(蔵新田)

学生時代を弘前市で過ごした仁美さんは、東北夏祭りの一つねぶた祭りのファンで今年も祭りを見物。「弘前市での四年間は、とても貴重な体験になった。その頃、東由利に帰ってくると虫の声が聞こえてホッとしたの

佐々木仁美さん(23歳)

大 琴



にカラオケを楽しんだりしています。

小学校時代の保健の先生が印象的で現在、養護教諭目指して頑張っている仁美さんでした。次は、大琴の鈴木貴子さんにリレーします。

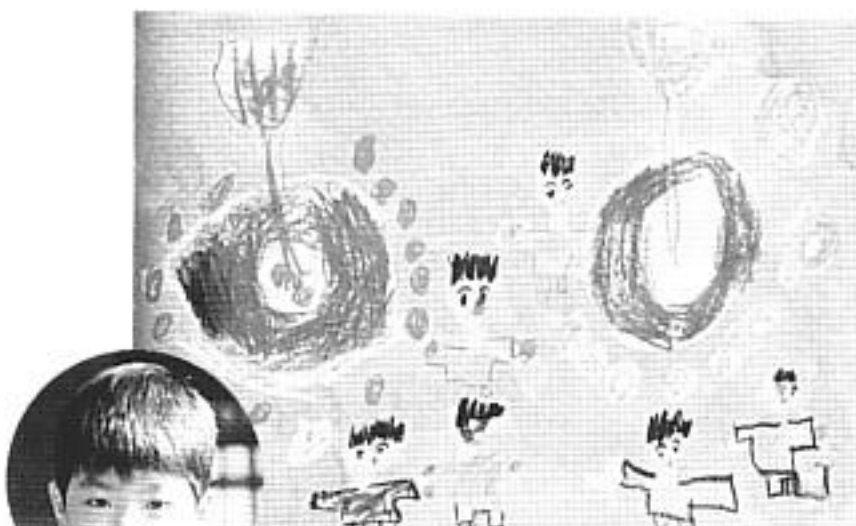
迷い犬居つく軒端や桐一葉
 桐一葉歩るき初めたる赤い靴
 一葉落つ浮いて秘峽の露天風呂
 四季誇り音なく舞うや桐一葉
 桐一葉早や黄落の季となり
 桐一葉友の計報をのせて散り
 秋の布令伝える如し桐一葉
 桐一葉落ちる散歩で秋拾う
 桐一葉一人仕事の峽の畑
 桐一葉見上げて浮ぶ父の顔
 蛸に出会うひととき雨上り

高橋ヒデ子(横渡)
 小笠原亮子(蔵新田)
 小松 女沙(下小路)
 遠藤トミ子(小倉)
 小松順之助(中通)
 大庭喜右エ門(舟木)
 小松 徳蔵(湯出野)
 佐藤 正義(湯出野)
 小野石路子(上里)
 菊地 常作(湯出野)
 阿部 澄子(蔵)



おのしんたろうくん
(新町)

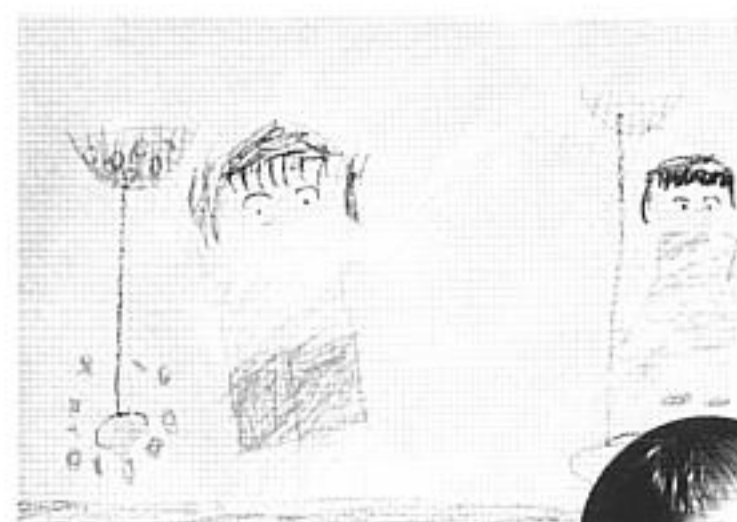
永慶保育園



きじまかずくん
(横渡)

うんどうかい

ぼくの絵
わたしの絵



こまつあけみちゃん
(大台)



えんどうはるかちゃん
(野田)

アレン先生の英会話教室 ★★★★★

★★★★★ 国際英会話クラス



Vol. 7 刈り取り (Harvest)

ハウ ワズ ザ ハーベスト ディス イアー

Sven : How was the harvest this year?
(今年の刈り取りはいかがでしたか)

オー プリティー グッド ザ コーン ワズ ベリー ナイス

John : Oh, pretty good. The corn was very nice.
(かなり良かったです。コーンは特に良かったです)

ザット イズ グッド ウィー ハド ア グッド ハーベスト トゥー ジ オンリー バッド

Sven : That is good. We had a good harvest too. The only bad thing was that the old combine kept breaking down.
(それは良かったです。私たちの刈り取りも良かったです。一つだけ悪いことは、古いコンバインが壊れたままだったことです。)

ザッツ ア バマー

John : That's a bummer.
(大変だね)

シャル ウィー ハブ ザ ハーベスト ディナー オン サンデー

Sven : Shall we have the harvest dinner on Sunday?
(日曜日に刈り取り後の食事をしませんか?)

シュア

John : Sure.
(いいですよ)

ハイスクール○日記

高校生活を
半年終えて



下郷分校1年
畠山 広喜くん

高校生活も半年が過ぎた。この間、運動会など印象に残る行事、出来事がありました。僕はこの半年とこれからの抱負を述べたいと思います。

さて、僕は野球部に所属しています。先日、秋の秋季大会では秋田商業に延長の末惜しくも敗れてしまいました。しかし、延長まで持ち込んだねばりは、これからの部活動にとって大きな収穫があったと思います。三年生の引退にとともに、部員数は十人と野球をやっていくには厳しい人数ですが、春に向けて頑張

りたいと思います。一方、クラスの方ですが、授業中の落ち着きのなさは、入学した頃とあまり変わらないような気がします。けれども、そろそろ落ち着きを取り戻し、勉強など頑張れる雰囲気を作らなければと思っています。

まだ、半年が過ぎたばかりです。これからの様々な事に挑戦し、失敗を恐れず、高校生活三年間を仲間と共に充実した日々を送りたいと思っています。(八月号で学校祭の期日を九月四日(日)とお知らせしましたが、十一月六日(日)の実施となりました。ぜひ、お越しください。)

10月→データ東由利

(8/1~8/31)

人口 () は前月比

■男	2,696人 (—)
■女	2,838人 (—)
■計	5,534人 (—)
■世帯数	1,415戸 (1)

() は1月からの累計

・出生	6人(32)	・死亡	6人(41)
・転入	3人(67)	・転出	3人(108)

■火災出動	0件(1)
■救急出動	13件(74)
■交通事故	2件(5)
・死亡	0人(0)
・傷者	4人(8)
■飲酒運転	0人(1)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 10月の行事

- 7 国道107号奥ヶ沢工区竣工記念町民祭
- 13 国道107号奥ヶ沢バイパス開通式(11:00本荘市側現地)
- 16~22 行政相談週間
- 18 行政相談 (13:00~16:00 克雪センター)
- 20 行政相談 (13:00~16:00 高瀬館)
- 23 東由利町・大内町合同海外研修出発(~11月2日 欧州)
- 30 東由利音楽祭

東由利

郷土の野草

No.116

主に川岸(写真は老方マギダで)、山地に生える多年草、茎は硬く丸みがあり草丈は四十~五十センチになります。葉は奇数羽状複葉で対生(まれに互生)し葉柄があります。長楕円形の葉は表面は緑で裏面はやや白味を帯びます。六月の初め、周囲の草があまり伸びない頃に紅紫色の鮮やかな蝶形花を総状につけ、花後三センチ内外の莢をつけます。この中にふつう五粒の種子があります。変哲のない初夏の川岸を誇らしげに咲くこの美花は人々の目をひきつけます。

ニワフジ

(マメ科)

文・写真 小松忠正



戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

(8/21~9/20届出)

森川 佳菜ちゃん (由高) 三女横小路美緒子

佐々木 彩ちゃん (和人) 長女大琴和枝

畠山 拓ちゃん (文子) 長男大吹川誠子

●結婚おめでとう

小野 次郎さん (湯出野) 畑山 トワ子さん (館合新田)

●こめい福をお祈りいたします

小野 節三さん (66 照雄・養父) 大琴

畠山 ミツヨさん (92 淳悦・母) 袖山

畠山 テツエさん (82 幸男・母) 中通

丸田 ノブエさん (84 朝彦・母) 東光苑

高橋 セツさん (69 定雄妻) 館合新田

私の好きな風景

横断幕



蔵の愛宕トンネル横渡側入口に横断幕が出現。蔵トンネルの島側の入口にも同じような看板があります。

(撮影・広報担当)

まごころ

町社会福祉協議会に、小野照雄さん(大琴)、高橋慶一さん(本荘市)から芳志が届けられました。また、広報送付の謝礼として、小野巳津子さん(須郷田出身、静岡県在住)、高橋園子さん(館合新田出身、秋田市在住)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

ほっとひととき

四月号からはじめた広報クイズ。その月によって枚数はさまざまですが、回答と一緒にいろいろな事が書かれて来ます。要望などは「少しでも多く実現できるように」と担当課に送付。「これからは体に気をつけて頑張ってください」などという励ましのお言葉もあり、うれしさいっぱい。締め切りが迫ってくるとそのハガキを取り出して頑張っています。さて、ちょっと前に「写真を撮らせてください」という不審な男の話やいたずら電話多発の話を書きました。以前は他人事と思っていたことが本町にも。お互い注意しあいながら、嫌なことはしないように心掛けたいものです。